

# 虹

学校教育目標「自立の精神に満ちた人間力の育成」  
校訓 誠実・敬愛・自立

川登中学校だより No. 1 令和3年4月8日

文責 校長 武富 幸就

新年度がスタートしました。今年1年よろしくお願いします。

この4月、校長として赴任してきました 武富 幸就（たけどみ ゆきなり）とい  
います。「誠実・敬愛・自立」の校訓のもと、学校教育目標を「自立の精神に満ちた  
人間力の育成」と掲げ、生徒たちが誇れる学校、先生方が誇れる学校、地域の方から  
誇っていただける学校を目指し、取り組んで行きたいと思っておりますのでよろしくお願  
いします。4月6日（火）に赴任式を行いました。今年度川登中学校に赴任してき  
ました職員を紹介します。

校 長	武富 幸就		(江北町立江北中学校から)
教 頭	陣内 美紀	国語	(西部教育事務所から)
教 諭	畑瀬真理子	音楽	(武雄市立西川登小学校から)
教 諭	神近 智	国語	(武雄市立北方中学校から)
教 諭	小柳 美歌	理科	(鹿島市立西部中学校から)
市 職	樋渡 静香		(武雄市立武雄北中学校から)
市 職	岩永 安弘		
市 職	掛橋 洋子		(武雄市立西川登小学校から)
基礎学力TT	樋口 由美	国語	
基礎学力TT	田代 陽子	数学	

お世話になります。よろしくお願いします。

始業式で、2・3年生に話をした内容を紹介  
します。

「今年度の目標は立てましたか。目標を立て  
て取り組むことは、自分の大きな成長につな  
がります。皆さんは、自分では気づいていない  
かもしれませんが、この1年間で成長したと  
思います。しかし、目標をもって取り組んだ人  
とそうでない人では、その成長の大きさが違  
ってきます。まだの人は、1か月後の自分、半年後の自分、1年後の自分を思い描い  
て、目標を立ててください。皆さんは、昨年度、様々な経験・体験を通して成長し、  
学年が1つあがったこととなります。前の学年と同じような気持ちで学校生活を行  
うのではなく、新たな気持ちで取り組んでほしいと思います。

2年生は、後輩ができ、後輩の見本にならないといけないということです。これま  
では、先輩の後を追って中学校生活を送っていましたが、これからは見られていると



いう立場になるということです。その意識をもち、自分の言動に責任をもたなければいけません。

3年生は、昨年度の途中から部活動や生徒会活動など学校の中心となって活動する機会が増えてきました。相談できる先輩がこれまではいましたが、今日から最上級生となります。自分たちで話し合い学校行事や生徒会活動など、学校をまとめ、中心のなっていて取り組むこととなります。つまり、学校の顔となって活動することとなります。自分たちの可能性をさらに伸ばすために、これまでの自分から少しだけ背伸びをして学校生活に取り組んでほしいです。」と話をしました。

4月7日（水）に第56回入学式を挙行政いたしました。

すがすがしい晴天のもと、コロナ禍の中、規模縮小、時間短縮ではありましたが、武雄市教育委員会 教育長 松尾文雄様のご臨席を賜り、第56回武雄市立川登中学校の入学式を挙行政いたしました。式辞において新入生に二つのお願いをしました。

式辞の内容を紹介します。

「一つ目のお願いは、『早く中学校生活に慣れてほしい』ということです。中学校では教科ごとに先生が変わります。また、部活動や



生徒会活動の他に、体育大会など様々な行事が生徒たちの手で行われます。皆さんも自分から進んでいろいろな行事や部活動に参加し、自分のもてる力を大いに伸ばしてください。二つ目のお願いは、自分と周りの人の存在を大切にしてほしいということです。私たちの周りには、いろいろな人たちがいます。人によって興味も違うし、得意なことも違います。みんなが自分と同じとは限りません。様々な人たちで成り立っているのが社会であり学校なのです。一方、私たちは、相手の立場を理解しようとして勝手に自分の都合で判断してしまう傾向がないでしょうか。これでは、自分の周りの人や物を乱暴に扱う自分勝手な人になってしまいます。みんなが自分と同じということはないのです。大事なことは、自分との違いに気づいたときに、『何で、できないの？ 何でそんなことするの？』と否定してしまうのではなく、『どうしてなんだろう』と、その人の立場に立って考えることなのです。」

新入生27名を含めた全校生徒80名での川登中学校が、スタートしました。コロナウイルス感染症の影響で、社会は日々変化しています。このような中、学校はこれまでの活動を大切にしながら柔軟な教育活動が求められます。保護者、地域の皆さまのご理解とご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。